



広報 矢島

1月

平成 15 年第 5 6 1 号

編成・発行／矢島町企画商工観光課 毎月1日発行
秋田県由利郡矢島町矢島町 20 TEL 0184-55-4952
印刷／高瀬館印刷所 FAX 0184-55-2157
Eメール yashima@town.yashima.akita.jp
ホームページ <http://www.town.yashima.akita.jp>



今月の主な内容

P 2・3 新年のごあいさつ

P 8 高規格救急車

P 14 ほけんだより

P 4～7 海外ボランティア in ネパール

P 10・11 まちの話題

P 16・17 情報ひろば

新年



謹んで新年のごあいさつ申し上げます。

町民の皆様には、ご健勝で新年をお迎えになり衷心よりお慶び申し上げます。

昨年は内外ともいろいろな問題がありましたが、特に「悪の枢軸」の発言で幕を開けた終りなきテロとの戦いは、和解の糸口すら見えないまま永い間の民族と領土の根深い憎悪が増す中で新年を迎えました。また、日朝正常化交渉も拉致疑惑問題が表面化し交渉も中断状態にある。

一方、国内では「失われた十年」の国内経済は一日も早い回復の期待感もむなしく、デフレ不況の大きな渦中から今だに先も見えず脱する兆しさえない状態である。この様な日本の危機的状況を認識し、政・官・財・国民の智慧と総力を結集して克服への年頭にしていたきたいと心から念願して止まない次第であります。

町民等しく景気の回復を念願し、地元企業関係の並々ならぬ御努力により地元雇用の確保に努めていただけて居り衷心より感謝を申し上げます。今年も引き続き「緊急特別雇用対策」で、小規模ながら

雇用の増加を計ってまいりたいと思つて居ります。今後其各企業体と密接な連携をとり、雇用の確保に最善の努力を致してまいります。

町の事業も継続事業として進めている水田基盤整備事業等についても、本年度も公共事業の見直しにより厳しい国の予算状況ですが、出来る限り事業予算の配分をお願いし早期完成に努力致します。昨年は長雨と日照不足により、農産物にも大きく影響してお

新年のごあいさつ

矢島町長

佐藤清圓

り特に稲作についてはカメ虫被害等で、一等米比率が近年になく低い五六％であり減収分と合せかなりの所得減となつております。本年度の営農支援策について検討致しております。尚、低級米の原因については管理面もあり、関係機関と分析検討し本年度の営農指導の面で徹底を計ってまいります。

「市町村合併」については、昨年十月二十八日合併準備会を設立し事務的作業中でありますが、一月下旬に法定協議

会が設立予定であります。各市町議会に於て協議会参加議決を必要と致します。

合併協議会では、一市七町が財政は勿論ですが合併後の新しい自治体の将来のビジョンをどう確立するかが議論の最重要課題であると認識致して居ります。

今後の協議の中で、一〇四年の歴史と文化・産業・教育の矢島町の特性を失うことなくどう生かすのが、私に課せられた使命であるものと重

責を感じて居ります。何卒町民各位の率直な御意見・御要望をいただき、強力な御支援を切にお願い申し上げます。合併協議会の経緯については必要に応じて情報を開示致します。

合併問題を抱えながらも、現在までの矢島町の独自性と自己責任の下で今年も町民皆様が安心して健康で楽しく生活出来る町づくりのため職員と共に一生懸命努力を致してまいりますので、本年も一層の御指導と御支援を御願い申

し上げ、町民一人一人の御多幸を衷心より祈念し新年のあいさつといたします。





2003 年頭にあたり

謹 賀

新年明けましておめでとう
ございます。

町民の皆様には今年こそ
はという新たな想いで年頭
をお迎えのこととお慶び申し
上げます。ここ過去数年間に
おいては内外を問わず激動の
時代を刻む多事多難の連続で
ありました。

殊に構造的不況による景気
浮揚策は実効にあらず日々悪
化の様相を呈してきている。

国外においては相変わらず
の政情不安による幾多の組織
的なテロ行為が後を絶たず、
イラク事情も緊迫した状況で
越年した。

そうした中であって、北朝
鮮の拉致問題、当時の謀り事
とはいえ人権を無視した横暴
極まりない行為には言葉も
ありません。

国の責任において人権回復
に全力をあげ一日も早い平和
的解決を望むものでありま
す。この様に一連の暗い報道
の中にあつてノーベル物理学
賞の小柴さん化学賞の田中さ
んのダブル受賞は全世界に日
本の科学のレベルの高さをア
ピールしたもので唯一の感動
を覚えた慶事であらう。

国内動向をみても、失業率
は更に上昇途上にあり、来春

卒業予定の高校生の就職未定
者は最悪を更新し、特に東北
の内定者は20%台と厳しい状
況となっている。その背景に
は国の施策としての抜本的政
策に踏み込まないからで、地
方の時代と言われて来て久し
くなりませんが地方が発展しな
いまま、国が示している方向
は地方にとつては厳しいもの
となっている。

その最たるものが地方財政
計画であり、その規模が前年
度を下まわる事が確実視され

年頭所感

矢島町議会議長

地方自治体の財源不足を国が
保障する地方交付税の総額は
本年度新たに5%削減され、
三年連続の過去最大の減少率
となった。この影響は公共事
業は勿論、自治体が独自財源
でインフラ整備する地方単独
事業の激減は深刻である。そ
れに追いつくをかける様に税
制改正大綱が決定され、経済
活性化を狙った先行減税はあ
るにせよたばこ、発泡酒など
の「大衆増税」や「所得控除
の縮小」は消費の冷え込みや
家計の引き締めにつながり、

税制改正最大の狙いである景
気浮揚策には程遠いものと
なった。

道路行政にみても道路公団
民営化委員会の最終報告は異
例の事態で決着をみ、地方切
り捨てへの極論と言わざるを
得ません。

高速道路は国にとつても、
優先的に整備すべきインフラ
であり国民が均衡を保ちなが
ら文化的な生活を送るための
最低限必要な施策で、今後大
きな発展の可能性を潜在して

正 本 正

いる地域にとつては、一体的
多軸型国土の形成を大きく阻
害するものであり、地方の高
速ネットワークが完成してこ
そ大きな効果と意義があるも
のを考える。

本町の基幹である農政面に
おいては、米生産、流通を抜
本的改革を前提とした新たな
指針が示され第三者的組織に
よる客観的な需要予測を立て
た新制度の創設などを盛り込
んだものとなつていて我が町
への影響も必至であります。
昨年度の稲作の結果をみても

夏場の長雨とカメムシ被害、
一時的高温による乳白米等
質、量的にも課題を残し大幅
な減収となった。圃場整備が
完成に近づいている今日、新
たな減反面積の増加も対応に
苦慮するところでしょう。

最重要課題が最後となりま
したが、国は停滞する経済、危
機的な財政状況の中、国民の
閉塞感を打開し、日本再生を
図るべくあらゆる分野におけ
る構造改革に踏み出し「個性
ある地方」の自立を促し、そ
の一環として市町村合併論の
中に基礎的自治体の再編を図
ろうとしてきた。将来的方向
を探り本町も苦渋の決断のも
と合併協議会参加を決定した。

社会動態の変遷によるもの
とはいえ、都市と農山漁村の
関係は決して対立の関係にあ
るものではなく共生、対流の
関係にある。したがってこれ
までも立派に自治を實踐して
きた実態を尊重し更なる地方
の優先を考慮すべきものと思
える。

議会としても町民の皆様と
先行き不安のない様議論を深
めあうことを誓い合い年頭の
あいさつとさせていただきます。

ネパールで奉仕活動 矢島高校生海外 ボランティア体験記



11月20日から28日までの日程で矢島高校生がネパールでボランティア活動を体験。

今年は1年生2人、2年生5人の計7人の生徒が海外ボランティアに参加されました。

日本とは文化や風習も違う国でのボランティア活動ということもあり戸惑いもあったようですが、矢島高校生が一生懸命活動に取り組んだ貴重な体験と感想を今月より2回にわけて紹介します。

(写真)
キルティプール園芸センターにて現地の人と記念写真

ネパールボランティア研修に参加して

1年 佐藤 守

今回のネパールの研修では、日本大使館、JICA、ハンディキャップセンター、キルティプール園芸センター、バラジュール技術訓練センター、タマン農場など様々な場所を訪れてきた。最初に行った日本大使館の玄関は厳重で兵隊のような人が銃を持って見張っていた。大使館の中に入ると、カトマンズの混沌とした喧噪の町並みとはまったく違う、静かで清潔な建物へ案内された。そこでは、大使館の佐藤一等書記官に約100年前にネパールに来た日本人のことを聞いたことが印象に残っている。次に訪れたハンディキャップセンターでは、このセンターの創設者自身が身体障害者で、自らの資材を投げ出してセンターを作ったという話に感銘した。ここでは単に障害者の社会復帰を助けるだけでなく、ネパール国内のさまざまな地方の人を集め、その人たちに障害者の支援の教育を行い、それぞれの地方での障害者支援の活動の核作りも勧めているそうである。

バラジュール技術訓練センターには日本からのシニアボランティアの方がいらっしやった。このセンターでは、生徒たちは機械・電気・配管などの実用的な技術を学んでいた。政府からの援助は少なく、自分たちで作ったものも販売してセンターの運営の資金にしているそうである。太陽光を利用した湯沸かし器などネパールの環境に適した製品もあつて興味深かった。

“平和の森”には平和を願う大仏が建立されており、そこに僕たちは日本から持ってきた桜の苗木を記念に植樹してきた。その後、その村の子供たちに、食事を配るボランティアの作業のお手伝いをさせて頂いた。そのご飯はお米をつぶしたような物に大豆とジャガイモのカレーをかけたようなものだった。こんな質素な食事を喜んでもらっていくのを見て、日本はどれだけいい物を食べているのか改めて分かったような気がした。その他にも、タマン農場、ACPなどいろいろな所を訪



ネパールの農村風景

問することができた。9日間という短い期間だったが、ネパール人の生活、習慣がわずかながらも分かった気がする。特にネパールの交通事情は僕には印象深かった。ネパールでは多くの車やバイクが行き交う車道を、人が堂々と横切って渡っていた。また近くに信号があるのに使わず、道路の真ん中で車が途切れるのを待っていたりする。自分自身がネパールの人たちと同じように道路を横切らなければならなかった時は、怖かったが、かなりわくわくした。

初めて訪れた外国。しかも日本とは何もかも文化の違う国を、自分自身の目で見ることができたことは大変貴重な経験であった。この研修で学んだことを忘れずこれからの自分の人生に生かして行きたい。

ネパールボランティア研修に参加して

1年 今 野 恵 美

私は、11月20日から28日までネパールボランティア研修に参加しました。午前秋田空港から大阪空港に行き、大幅に遅れたネパール行き飛行機に乗り込んだ時はすでにあたりは暗くなっていました。上海を経由して、ようやくネパールに着いたのは現地時間の午前2時頃でした。飛行機を降り、最初に感じたのはネパールの空気が埃っぽいことでした。ホテルに向かう車から外を見るとライフルを持った兵隊が所要所に立っていて、改めてネパールに着いたことを実感しました。そしてようやくホテルについたのは夜の3時過ぎくらいになっていました。

ネパールでの第1日目は日本大使館の訪問でした。ホテルから大使館に向かう道路はバイク、自転車、車、バスなどであふれかえっていました。日本大使館ではいろいろな話を伺いました。アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本など多くの国が、学校、病院、道路、ダムなどの

建設のためにネパールに援助を行っているのですが、その中で日本がネパールへの支援額では一番であることを知り大変驚きました。午後からはJICA事務所を訪れ、海外青年協力隊やシニアボランティアの仕組みや、海外青年協力隊がネパールでどのような活動をしているのかなどを伺うことができました。

またネパールハンディキャップセンターでは、ネパールの福祉活動の一端を見学することができました。そこには、学校、病院、リハビリ施設などがあり、体の不自由な人たちに對して様々な支援を行っていました。その施設の障害者たちは、健康な人と同じくとても明るい笑顔でいることに大変感銘を受けました。

5日目に訪れたタマン農場は標高約1400mの所にあり、そこに行く道路もひどいデコボコで大変でした。しかし、農場はカトマンズとは違い空気がきれいでもともと気持ちよかったです。

ネパールでの研修のまとめ

の総合検討会では、協力隊の人たちと意見交換をしたり、協力隊の人たちになぜ協力隊員になろうと思ったのかなども聞くことができました。また、その後の食事会でもたくさんのお話を聞くことができました。とても楽しかったです。

この9日間で日本とネパールの環境の違いなどいろいろなことを学ぶことができて、とても良い経験になりました。初めての海外ボランティア研修でしたが、大変楽しめてよかったです。

ネパールに学んだこと

2年 村 上 千 絵 美

私は今回の研修に参加して、ネパールの事だけではなく、たくさんのお話を学びました。ネパールは、日本と違うことだらけでした。

ハンディキャップセンターでは、体に障害を持った人たちが、みんなで協力しながら生活していました。日本にくらべ、医療技術や設備は劣るとはいえ、患者の心のケアや施設を出てからのサポートなどは、日本も学ぶことが多いのではないかと思います。



日本大使館でネパールについて学習

バラジュ技術訓練センターは、日本で言う工業高校のようなところでした。ネパールでは日本以上に資格ものを言うらしく、学校で学んでいる学生たちは一生懸命頑張っていました。この技術センターでは、日本から来たシニアボランティアの人が働いていて、協力隊の人たちがどのような仕事をしているのかも知ることができました。

“平和の森”を訪問した際には、ネパールの子どもたち

ネパールから学んだこと

2年 柴田 絵里



農家の軒先で

に食事の給仕を行いました。子どもたちは、小さい子ばかりで、身につけている服や靴もボロボロのものでした。テ

レビなどでは、貧しい子どもたちを見たことはありましたが、実際に目の前にしてみると、とても可哀想でした。日本では求めなくても食べ物に満足に食べることが出来ます。生まれるところが違うだけで、なぜこんなに違うのかということを考えさせられました。

ネパールには、無いものがたくさんあります。しかし、人々は生き生きと生活しています。日本では、物が溢れています。日本では、物が突然なくなったりしたときの対処法も分かっていないのではないのでしょうか。またネパールでは無い物がたくさんあるからこそ、作り上げる喜びや物を手に入れる喜びが一層大きいのだということも学びました。

ネパールに着いた時には、不安ばかりでしたが、いろいろな事を見たり聞いたり、体験した事で、異国に来ることの良さを知ったような気がします。文化の違いや、人種、言語の違いを直接的に体験できるということとは、とても幸せな事だと思えます。ネパールから帰ってからは、当たり前なものとして考えることもなかった自分の国の良さを改めて実感しています。

私は今回ネパールボランティア研修に参加してたくさん事を学び、とても貴重な経験をすることができたと思います。ネパールで過ごした1週間は何ものにも代えられない私の大きな財産となりました。

ネパールを訪れる前、私はネパールに対して貧しい国という印象しかありませんでした。確かに、実際ネパールに来てみても人々は貧しい暮らしをしていると思いました。

しかし、ネパールの人々は生活は貧しくても『心が豊か』だということを感じました。例えば、1日目に訪れたハンディキャップセンターという所では人々の笑顔がとても輝いていてとても素敵だと思いました。日本の身体障害者施設は、私にとつてとても暗い印象があります。しかし、ネパールのハンディキャップセンターではみんな元気で楽しそうに生活していて、「本当に障害者なのかな？」と思う程でした。また、その施設で働く人々も車椅子だったり、松

葉杖をついていたりして、どこかに障害がある人たちでした。その光景は日本では見られないことだったので、びっくりしました。障害者だからと言って特別視されたり、普通の人以上に劣っている訳ではないという事を身を持って実感しました。「二人の人間」としてみんなが互いに尊敬しあい協力して生活している事に、日本人の学ぶべきものがあると思いました。

また、タマン農場という所を訪れた時も、タマンさんの奥さんが『無いことの幸せ』について話してくれました。ネパールではモノがないから不幸という感覚はまったく無く、持っているモノを最大限に利用して、自分たちにとつて最高の生活をしているというのです。自分たちで出来ることはなんでもやって毎日を生懸命生きているネパールの人々の姿にとっても感動しました。

今回のネパール研修は、私の日本での生活を見直すきっかけとなりました。違う国の

文化や生活を体験して、自分は本当に恵まれていると思いました。また、食べ物や着る物に困らなくても、それが『本当の幸せ』だという事ではないとも思いました。生活が満たされているという事は、頭で考え、新しいモノを作り出す力を減少させてしまいます。だから日本人の生活は、物質で満たされているけど、心が満たされていないのだと思います。だから、私は、これからの生活の中で心が豊かな人間になりたいです。今、この時期にネパールに行くことができ、とてもよかったと思います。ネパールの雄大な景色を見て、人々の生活に触れて、自分の悩み事なんてとてもちっぽけなものだと思いました。ネパールでたくさん事を吸収して、自分がひとまわり大きく成長できたような気がします。

ネパール研修では自分の視野を広げる事が出来ました。今回学んだことをこれからの学校生活や将来に役立てて行きたいです。

ネパールボランティア研修を終えて

2年 佐藤 智彦



桜の苗木を植樹



子供たちに食事を配る
ボランティア活動

ネパールはすごく貧しい国だと聞いていましたが、ネパールに着いてすぐそれを実感することになりました。私たちがネパールに着いたのは、飛行機の遅れでもう真夜中でしたが、そんな時間にもかかわらず、空港では小さい子供が荷物運びの仕事をしていました。こんな小さな子供のころから仕事をしてしなければならぬという国の厳しさを、ネパールに着いてすぐ実感することで僕たちの研修は始まりました。

ネパールでの第1日目はネパール大使館の訪問でした。そこでは、マオイスト問題を中心とする治安の悪化がネパールの貧しさを一層深刻にするというような説明を聞きました。午後からはネパールハンディキャップセンターを訪問して身体障害者の生活を見てきました。そこには、親のいない人たちが家族を作って生活している場所や、セクターでリハビリを受けている男の子、女の子がそれぞれ生活する部屋、図書館など様々

な施設がありました。

次の日に行ったキルティプール園芸センターでは、海外青年協力隊の簡単な説明を聞いた後近くの農村に行きました。そこでは農村の見学をしたり、農村での園芸の指導を始めるために、協力隊と農村の人たちで作った水源にも案内してもらいました。

午後にはシニアボランティアが働いているパラジュア技術訓練センターを視察しました。そこでは生徒は朝9時から午後の5時まで勉強しているそうで、生徒たちが勉強に一生懸命取り組んでいることにたいへん関心しました。

翌日は“平和の森”を訪れ日本から持っていた桜を5本ぐらい記念植樹したり、村の貧しい子どもたちに食事の給仕をしたりしました。午後からはカトマンズ市内の観光をしました。カトマンズの市内は人がいっぱいいて大変にぎやかでした。観光客相手に物を売って回っている人もたくさんいましたが、お金を稼ぐのは大変そうでした。

次の日はタマン農場に行き、デコボコの道を3時間かけてようやく農場に着きました。タマン農場では、2年前に電気が引かれましたが、普通の農家と同様、米や野菜を作り、水牛やニワトリ、山羊を飼いほとんど自給自足的な生活をしているそうです。その後近郊の学校に行き、日本から持っていたボールペンとサッカーボールを渡してきました。その学校では小学校1年生から留年があるそうで大変だなと思いました。

その翌日はACPを訪問し、そこでは協力隊の鶴月さんが働いていて、民芸品のデザインアドバイザーの仕事をしていました。午後は総合検討会をしました。緊張してうまく自分の考えを言えなかったのが残念でした。

このネパール研修で学んだことは、何事にもあきらめず、努力することです。

君のハートよ位置につけ

秋田わか杉国体

2007 第62回国民体育大会

矢島町はソフトボール成年女子競技の開催地です。

高規格救急自動車運用開始!!

矢島地区消防組合では、初めての高規格救急車が12月10日に納入され、12月16日より運用開始となりました。

従来の救急車でも、救急救命士が処置できる資器材を搭載し活動してきましたが、今回配備された高規格救急車は、傷病者室が広く救急救命士がより容易に処置できる資器材を搭載した救急車です。

出場体制に変更はありませんが、傷病者の状態により、高規格救急車と鳥海分署配備又は由利分署配備の救急車2台が現場に向かうことがあります。



救急自動車新旧対象

	高規格救急車	以前の救急車		高規格救急車	以前の救急車
全 長	5,610 mm	5,130 mm	室内長	3,900 mm	3,375 mm
全 幅	1,800 mm	1,690 mm	室内幅	1,680 mm	1,535 mm
全 高	2,480 mm	2,500 mm	室内高	1,850 mm	1,580 mm
エンジン	3,400 cc	2,700 cc	使用燃料	ガソリン	軽 油

新しくなった車内の救急資器材

①観察モニター

(心電図・脈拍・血圧・呼吸・血中酸素飽和度の測定)

従来観察モニターより、詳細な心電図を観察することができ、新しい機能として呼吸数を観察することができます。

②除細動器 (震えている心臓に電気ショックをあたえ、

心拍の回復を図る)

心電図の不整脈を読みとる機能が高まり、従来の除細動器よりすばやく除細動を行うことができます。

③人工呼吸器 (呼吸の管理)

傷病者の容態に合わせた呼吸管理ができるようになりました。

④吸引器 (口の中にたまった唾液や血液を吸い取る)

従来よりも、吸引する強さが細かく設定されている高性能のものと、コンパクトで持ち運びに便利な2種類の吸引器が配備されました。

⑤バックボード (首、背骨に損傷者を固定する器材)

確実に首・背骨を固定し、後遺症を未然に防ぐ。病院で検査をする際に、そのままレントゲンを撮ることも可能な器材です。

⑥血圧計

従来は携帯用血圧計で測定していたが、車内に固定されることにより使い勝手が良くなりました。

今回、新しく高規格救急車が配備され、より一層住民の皆様の役に立てるよう精進を重ねていきますが、傷病者の命を救うためには、傷病者の最も近くにいる住民の皆様の応急手当が必要となります。ぜひ、傷病者に暖かい手を差し伸べて頂きたいと思います。



救急車に設置された資器材



広くなった室内

平成14年度 矢島町野球協会

年間表彰チーム・選手

11月29日（金）、日新館において、平成14年度矢島町野球協会納会で年間表彰が行われ、最優秀チームにはTDK—ACCチーム、最優秀選手賞には猪股英之さん（TDK—ACC）が選出されました。



◎チームの部

最優秀チーム賞	TDK—ACC
優秀チーム賞	矢島町役場 矢島ダンディーズ
特別賞	矢島OBクラブ

◎個人の部

最優秀選手賞	猪股 英之（TDK—ACC）
優秀選手賞	菊地 勝大（矢島地区消防署）
敢闘選手賞	佐藤 昌司（矢島町役場）
敢闘選手賞	土田 正美（矢島ダンディーズ）

◎ベストナイン

	1 部		2 部	
投手の部	猪股 英之	TDK—ACC	那須 博人	ヤンキーズ
捕手の部	佐藤 陽一	矢島町役場	佐藤 政吉	矢島技能組合
内野手の部	佐藤 陽太	矢島消防署	三浦 明治	矢島ダンディーズ
〃	高田 晃	山科ノーランズ	佐藤 智弥	矢島技能組合
〃	土田 健治	クラブG	佐藤 好邦	矢島技能組合
〃	佐藤 英樹	国土無双	村上 英人	ヤンキーズ
外野手の部	山田 利幸	ファーマーズ	三浦 一雄	OBクラブ
〃	真坂 和宏	クラブG	佐藤 義之	OBクラブ
〃	佐藤 瑞秋	山科ノーランズ	太田 晃一	矢島ダンディーズ

市町村合併報告

合併協議準備会事務局を設置

12月2日（月）一市七町が参加する「本荘由利一市七町合併合併協議準備会」の第3回会議が広域行政センターで開催されました。

会議では事務局職員として一市七町より派遣された職員に、準備会会長の鷹照本荘市助役より委嘱状を手渡されました。

事務局は同センターに設置され、協議事項の調整などを行う総務班と、予算編

成や新市計画の素案づくりなどを行う計画班で構成され、合併に向けての事務処理を行っていきます。

合併準備会12月の動き

4日（水）
市町長協議会

（規約案について協議）

11日（水）

第4回合併協議準備会

（規約案・予算案について協議）



広域行政センター内に設置された準備事務局

訂正とお詫び

先月号4ページの「登記無料相談所開設のお知らせ」において、お問合せ先 秋田

方法務局本荘支局の電話番号が「24—1200」とありましたが、「22—1200」の誤りでありましたので、訂正してお詫びいたします。

八森レストランで

テーブルマナー（12月18日）

小学校の八森レストラン（図書館）で行われた6年1組のマナー給食におじゃましました。

これは、落ち着いた食事環境の中でゆったりと食事を楽しみ、お互いに気持ちよく食べるためのマナーを知ろうと、小学4年生以上の子どもたちを対象に行っているものです。

6年生は3年目ということで余裕もあり友達と会話を楽しみながら、フォークやスプーンを上手に使いテーブルマナーをこなしていました。



八森レストランで行われたマナー給食
メインディッシュは
ロシア料理の
「ボルシチ」

まちの話題



選定駅の看板を駅長に交付

「東北の駅100選」

矢島駅が選ばれる

（12月14日）

東北6県にある鉄道駅970箇所から地域のひとびとから親しみ愛されている駅、魅力ある駅として矢島駅が選ばれました。

駅100選は東北運輸局・鉄道事業者による本年度の「鉄道の日」の記念事業の一つで、事業者からの自薦リストの中から選定委員会（委員長・徳永幸之北大助教授）で選ばれたものです。

選ばれた駅にはアクリル製の金色の板に「東北の駅百選選定駅」と書いた看板が交付されました。「鉄道の日」実行委員長（西谷弘南鉄道社長）に代わり実行委員でもある大井社長から岸野矢島駅長に手渡され、駅正面に飾られました。

シーズン中の無事故を祈願して スキー場開き（12月6日）

鳥海高原矢島スキー場の安全祈願祭が来賓、スキー場従業員、関係者約70名の参列のもとシーズン中の無事故、商売繁盛を祈願し行われました。

スキー場開き当日は雪不足のため営業ができませんでしたが、13日より営業を開始しております。

今年も矢島スキー場では好評のボードパークを昨年より充実しておりますので、スキーに、スノーボードに是非お越しください。



スキー場開きの
神事とテープ
カット





手話を交えながら
の小学生の発表



矢島町福祉大会開催（11月30日）

地域住民と連携を深め、「健康で生きがいを持ち安心して生活できる町づくり」を目標に、より一層の福祉の充実を目指して矢島町福祉大会が開催され、町民約200名の方々が来場されました。式典では社会福祉振興にご尽力されたとして、佐藤政之氏（神奈川県在住）、佐藤勉氏（長泥）2氏に感謝状が贈呈されました。

また、「これからの町の福祉について」と題して佐藤町長より福祉について講演が行われました。講演の後には学生から福祉についての体験発表や寸劇なども行われ、充実した福祉大会となりました。

矢島中学校に環境図書の寄贈

矢島中学校に、環境に関する本が本荘法人会から寄贈になりました。

本荘法人会では、社会貢献活動の一環として、平成10年度に管内中学校図書室に環境文庫を設置して、環境に関する図書の寄贈を行っています。

矢島中学校も5回の寄贈をいただき、「総合的な学習や教科の学習に活用できる」と、学校では喜んでいました。



「寄贈された本」

まちの話題

保育園おゆうぎ会（12月14日）

矢島保育園において恒例のおゆうぎ会が行われ、園児達はこの日のために練習をかさねてきた成果を保護者に披露していました。かぜがはやい少ない人数のクラスもありましたが、一生懸命踊る園児たちに会場からは多くの拍手が送られました。

また、町の福祉施設などでも披露され、老人の方々から大変喜ばれております。



おゆうぎを披露する園児たち

文化講演会

西木 正明氏（12月8日）

「自然と共生する地域づくり」と題して直木賞受賞作家西木正明氏をお迎えして文化講演会が日新館で開催され、約150名の方々が聴講されました。

講演では「自然については、守るべき自然と利用していく自然がある」「都市部と地方との連携を図りながら、自然の再生と再構築を進めなければいけない」と体験談を交えながら話されました。

また、現在の日本の課題とされている道路問題や本町の町づくりの基本理念であるエコミュージアム構想にも触れながら講演いただきました。



講演を行った
作家の西木正明氏



年末年始の特別警戒活動に 向けた出動式を実施

12月10日矢島警察署において、矢島町・鳥海町防犯協会、矢島地区交通安全協会、矢島地区安全運転管理者協会、矢島地区少年保護育成委員会、矢島地区暴力追放推進委員会など関係18機関・団体(120人)による「年末・年始における犯罪及び事故防止期間」の警戒強化を図るために「年末・年始特別警戒出動式」が行われました。

出動式では、矢島町防犯協会会長、矢島地区交通安全協会長等の激励のあいさつに続いて吉川矢島警察署長が「犯罪や事故のない町づくりのためには、関係機関・団体の協力が必要不可欠である。皆さんの活動に期待する」とあいさつ。その後、金融機関の巡回や各地区でのパトロール等を行いました。



1月26日は「文化財防火デー」

昭和24年のこの日は世界的な至宝である一三〇〇年の歴史を持つ日本最古の壁画が描かれた奈良県法隆寺金堂が焼損した日に当たります。

その後も文化財の焼損が相次いだことから、消防庁と文化庁では、文化財を火災や震災、その他の災害から保護するとともに、国民一般の文化財愛護思想の普及高揚を図る事を目的とし、昭和30年にこの日を「文化財防火デー」と定め、

全国的に文化財防火運動を展開しています。

近年では、平成10年に奈良県の東大寺戒壇院千手堂、また平成12年5月の京都・寂光院の火災では国の重要文化財「木造地藏菩薩立像」が被害を受けております。文化財の火災は、放火や周囲の飛び火によるものが多いという特徴があります。したがって、文化財の防火は、文化財を管理する方々だけでなく、地域の住

民や消防機関をはじめとした関係機関の協力があってこそ成し遂げられるものです。

矢島町では、1月24日(金)午後2時から国指定重要文化財「土田家住宅」において、防火訓練を実施致します。是非見学をし防災意識の再確認をしてはいかがでしょうか。

ご近所の皆様には御迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

民生児童委員委嘱

12月12日(木)、佐藤永吉さん(熊之子沢)に厚生労働大臣・秋田県知事より民



生児童委員の委嘱辞令が町長より伝達されました。熊之子沢・檜沢・谷地沢・桃野・濁川・大谷地を担当します。

退任されました村上昭さんには、長年にわたり担当地区住民皆さんの福祉向上のためにご尽力いただき大変ありがとうございました。

本荘由利休日応急診療所当番医予定表

診療時間午前10時～午後4時

月	日	曜日	氏名
1月	1日	水	鈴木 隆
	2日	木	桑山 明久
	3日	金	小松 寛治
	5日	日	佐々木 セイ子
	12日	日	小松 徳弥
	13日	月	佐藤 伸逸
	19日	日	佐藤 護
	26日	日	酒見 喜久雄
2月	2日	日	作左 部昇
	9日	日	鈴木 隆
	11日	火	高橋 葉満子
	16日	日	高野 一彦
	23日	日	菊池 四郎
3月	2日	日	西村 茂樹
	9日	日	若松 秀樹
	16日	日	早川 正臣
	21日	金	山田 暢夫
	23日	日	酒見 喜久雄
	30日	日	朝倉 健一

TEL 24-3917

“こちら情報センター”

「YB ネット」への加入者が

定員に到達！

先月号では、「YB ネット」への加入者数が241世帯なったことをお知らせしておりましたが、最終募集時期ということもあり、加入者がぐんと増えて計画した288加入まで到達することができました。



光ファイバの敷設工事についても現在、急ピッチに進められており、3月下旬のサービス開始に向けて順調に推移しております。

サービス料金やプロバイダについても現在、最終調整を行っており、1月中旬からの正式申し込みの際には、加入者皆様に詳細を提示できるものと考えております。

特に説明会時に多く質問のあった「インターネットゲームができるのか」という点については、技術的な部分もクリアして加入者の要望にお答えできるところまできております。

この光ファイバによるインターネットサービスが始まると、いままで利用していた電話線を使ったインターネットと速度・容量が格段に違い、いままで町で配信していた議会中継やイベント中継などの各種映像情報は、画面上の小さ

な小窓で見ていたものが全画面でしかもきれいな映像でご覧いただけるようになるほか、通信スピードがアップするため待ち時間のストレスがなく各種情報収集がスムーズにできるようになります。また、常時接続になるため長時間のインターネットゲームも時間を気にせずにできます。この他、現在あるブロードバンド向けのサービスもほとんどのものができるようになります。

町では、この超高速通信環境を活用して、議会中継やイベント中継をはじめとして今後も充実した地域情報の提供を行っていきたいと考えております。

「YB ネット」への問合せ

役場企画商工観光課 55-4952

配信を希望される方は役場企画商工観光課へ（55-4952）申込み下さい。

TV電話ビデオ・オン・デマンド装置

下記電話番号にダイヤルすることにより各種情報を見ることができます。

行政・福祉情報 29-5020

観光・イベント情報 29-5021

公共施設予約状況 29-5032

ホームページアドレス

<http://www.town.yashima.akita.jp>

メール

kikaku@town.yashima.akita.jp

やまめ十二月例会

雪晴や杉林時に雪散らす 佐藤木の实

電工の息子柱に暮早し 金子 京子

あといくつ寝たらと孫のお正月 齋藤 茂

山眠る細々続く手内職 佐藤 勝男

古里の山に囲まれ年暮るる 佐藤柳四郎

あつという間の年の暮七十年 齋藤 瑞

隙間風わがふところを窺えり 北島やす雄

の手術の妹の写真に 佐々木リヨ

わが肌にすり寄る孫のいとけなさ温もりの増す立冬の朝 茂木 富子

法体の滝にて撮りし写真出づ今は亡き友居りて切なし 伊東 房代

新しき花をわけ終え満たされて今日の夕餉の献立が成る 佐藤 洋子

あかとき空に名残りの月皓く破片の如き雪がこぼるる 佐藤千賀子

銀山の湯の街中の小流に人怖じせざる小魚あまた 佐藤アヤ子

置き石の上に降り敷ける玉霰殊更にして並べたるごと 金子 四郎

母在らば百三才ぞ逝かしめて二 講師 藤田 嘉樹

最新の医師の技量に畏怖覚ゆ脳 佐藤 幸子

酪農のテレビ見につつ今一度搾乳したき思いに馳らる 富田 かよ

た独と人厨に玉子酒飲む 富田 かよ

風邪よけと云い訳をして今夜また独と人厨に玉子酒飲む 富田 かよ

第三三二回 矢島短歌会十一月例会秀歌

講師 藤田 嘉樹

滝の水ためらひ持たず落ちくるは範圍のなかの自由とおもふ 佐藤真都子

知らぬ間にいでし涙の頬つたう探しし子に逢うTVニュースに 金子 京子

九十と成れど欠詠無き歌友に己が懈怠を恥ずかしきいる 佐藤 ヤス

菊の花の食べ方聞かれ教えたりなんと可愛い嫁さんだろう 桜庭 恭子

風邪よけと云い訳をして今夜また独と人厨に玉子酒飲む 富田 かよ

酪農のテレビ見につつ今一度搾乳したき思いに馳らる 富田 かよ

最新の医師の技量に畏怖覚ゆ脳 佐藤 幸子

ほけんだより

《相談・健診》

◎なんでも健康相談

日時 1月23日(木)
午前9時30分～11時30分

場所 保健センター

※健康に関する相談、体脂肪率や血圧測定、赤ちゃんの計測など実施しています。お気軽にいらして下さい。

◎3歳児健診

日時 1月10日(金) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成11年6月～9月生
(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙
※必ず自宅で目と耳の検査を済ませてから来て下さい。

◎2歳児健診

日時 1月15日(水) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成12年7月～10月生
(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙、
フェイスタオル
※歯垢の染め出しをしますので自宅で歯を磨いて来て下さい。

◎乳児健診

日時 1月23日(木) 午後1時

場所 保健センター

対象 平成14年1・3・6・9月生
(持参するもの)

母子手帳、記入したアンケート用紙、
バスタオル
※9月生の方は「母子健康相談票」を持参してきて下さい。

《予防接種》

◎麻疹(要予約)

日時・場所

※下記のうち接種を希望する医院に予約の電話をして下さい。

1月16日(木) 木村医院

1月20日(月) 佐藤医院

1月30日(木) 大井医院

受付時間 午後1時30分～2時

対象 平成13年12月生まれまでで未接種者

※母子手帳と記入した予診票を持参して下さい。

◎健診・予防接種の日程は矢島町のホームページ・iモードでも御覧いただけます。

《ホームページアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/>

《iモードアドレス》

<http://www.town.yashima.akita.jp/fukusi/fukusi/imodo.html>

「やめたいけど自信がない」

禁煙したい方大募集

「挑戦したがうまくいかなかった」という皆さん、一緒に禁煙にチャレンジしてみませんか。矢島町では、新年から禁煙にチャレンジしようとしている方をお手伝いします。

実施期間は、1月から3ヶ月間で、保健師と一緒に禁煙プログラムを考え、個別での電話又は面接による相談等で支援していきます。対象となる方は、たばこをやめて健康的な生活を送りたい方であれば、年齢性別は問いません。

参加を希望される方は1月15日まで福祉保健課に電話でお申込み下さい。(TEL55・4960) 希望された方には、後日、詳しい日程を説明させていただきます。

1年の始まりに 禁煙宣言 してみませんか？



風疹予防接種のお知らせ

先日、厚生労働省より「妊娠初期に感染すると出生児に難聴や心疾患など深刻な影響を与える恐れがある風疹について、妊婦8千人に対する全国調査の結果、抗体を持っていない割合が、昭和54年4月2日～昭和62年10月1日までに生まれた方に多い」という事が発表されました。

矢島町では、この年代に対し、小中学校で漏れがないように接種を実施してきたため、矢島町の小中学校に在籍していた場合、ほとんどの方が接種済みと思われる。しかし、当日体調を崩していた方、都合により欠席された方もいて接種率100%にはいたっておりません。

そこで、小中学校で未接種と思われる方を対象に接種日を設ける事となり、該当者には個人通知しております。接種に関するご不明な点は福祉保健課までお問い合わせ下さい。

(TEL 55・4960)

※風疹の予防接種は生涯1度の接種で良いとされていますので、個人的に風疹又はMMR(麻疹・おたふく風邪・風疹混合ワクチン)の予防接種を済まされた方、風疹にかかったことのある方は該当になりません。

年 金 コ ー ナ ー



「国民年金は20歳から！」

～加入の届出や免除等の手続きは忘れずに～

新しく成人なされた皆さん、おめでとうございます。

日本国内に住所のある20歳以上60歳未満のすべての人がいずれかの年金に加入し、保険料を納めることになっています。

会社等に努めているサラリーマンや公務員（扶養されている配偶者を含む）は給料から天引きされますが、その他の自営業、農業、アルバイト、学生等の方は社会保険事務局から送付される納付書により納めることになります。（口座振替可）

現在の年金制度では原則として年金の納付済み（国年・厚年等）・免除・合算対象期間を合わせて25年以上ある方が65歳になった時に支給されます。（60歳以降の繰り上げ請求もできます）せっかく納めた厚生年金等も上記支給要件に該当しない場合は残念ながら受給できなくなることがあります。

（例えば、会社に23年勤めたが、

国民年金を納めなかったり、免除申請をしなかった場合）

年金制度について理解を図り、納付が困難な時は、学生であれば「納付特例」それ以外の方は「免除申請」等により、年金支給要件を満たすように手続き願います。

お問い合わせ先 生活・環境課 TEL 55 - 4959

全国高校選抜

卓球大会出場！

12月3日秋田県立体育館で行われた、県高体連新人大会卓球競技兼東北高校選抜卓球大会県予選兼全国高校選抜卓球大会予選で三浦雄大（由利工業高校二年・新町）選手が全国選抜出場決定戦で勝利し、3月25日から愛知県で行われる同大会の出場権を獲得。

全国高校選抜大会での活躍を期待致します。



全国大会に出場する三浦選手

第一二七回商工会 珠算検定試験合格者

（11月17日実施）

二級 田口 貴久（羽坂）
三級 金子 稚奈（針ヶ岡）
草野 葵（水上）

活躍の記録

忘年囲碁大会成績

一般の部
優勝 辻 衛 四段
準優勝 網島 紘治 七段
三位 横田 宏 八段
四位 土倉 和夫 八段
少年少女の部
優勝 真坂 純平 11級
（矢島小4年）

みんなの善意

◎社会福祉法人矢島町社会福祉協議会
次の皆様から社会福祉事業のため役立てて下さいとして寄付金を寄託されました。
厚くお礼申し上げます。
○砂子沢、佐藤 卓様（御尊父弘志氏、香典返し）
○小田、柴田一男様（御尊父與次右衛門氏香典返し）
○ヤマザキ ショップ 矢島店（社会福祉事業寄付金）
○山寺、土田誠市様（御尊父五郎氏香典返し）
○荒沢、佐藤健一様（御母堂や工氏香典返し）

情報ひろば - Information -



募 集

「秋田わか杉国体」

シンボルマーク募集

平成19年に秋田県で第62回国民体育大会が開催されます。そこで、愛称・合言葉とともに公式に使用される、秋田県らしく、この大会を象徴するシンボルマークを広く募集します。

募集期間

平成15年1月31日

(当日消印有効) まで

応募資格

制限はありません

賞及び賞金

最優秀賞 一点賞金50万円

優秀賞 三点賞金10万円

応募・問合せ先

秋田市山王3丁目1-1

第62回国民体育大会秋田県

準備委員会(秋田県企画振

興部市町村課国体準備室)

ホームページアドレス

<http://www.pref.akita.jp/kokutai/kokutaih.htm>

※募集要項等の詳細につきましては、矢島町教育委員会社会教育課内国体準備室(日新館内)にお問合せ下さい。

TEL 56-2203

お知らせ

寿康苑からのお知らせ

◎新春民謡・民舞ショー

新山民謡同好会の皆様による民謡ショーがあります。お誘い合わせの上、おいで下さい。

日時 1月12日(日)

開演 午後12時半

場所 寿康苑

◎押し花教室開催

押し花を使って素敵な色紙の壁掛けを作ってみませんか。

日時 1月25日(土)

午後1時より

場所 寿康苑創作室

講師 須田みどり先生

材料費 一千円

対象者 矢島町在住の方

定員 先着20名

申込先 1月17日(金)

寿康苑まで

平成15年度

消防出初式の開催

平成15年矢島町消防出初式が左記日程により挙行されます。

日時 1月6日(月)

9時〜田中町通りで町長による観閲、終了後、徒歩部隊、消防車両のパレードの実施。

10時〜日新館において、式典をおこないます。

団員に対しまして町民皆様のあたたかい激励をお願い致します。

創業や開業相談は

商工会へ

商工会では、企業の経営改善や体質強化と共に「新規創業を目指す者」や「経営革新を進める事業者」の指導・支援を行っております。

創業に向け「お悩み」や「課題」をお持ちの方は、是非商工会をご活用ください。初め

ての方にもご理解いただけるようわかりやすく説明いたします。

お問い合わせ・ご相談先

矢島町商工会

TEL 56-2206

由利県税事務所から

平成15年度農業用軽油の免税証申請受付及び交付についてお知らせ

平成15年度の農業用軽油引取免税証の申請受付及び交付を次のとおり行います。

免税証の申請をされる農家の方は、必要書類を持参のうえ、指定日に会場までお越しください。

申請受付

日時 1月22日(水)

午前10時〜午後3時30分

会場 紫水館

日時 2月4日〜7日

午前9時〜午後3時

会場

総合庁舎第1・2会議室の2ヶ所のうちどちらかで

免税証交付

日時 3月12日(水)

午後1時〜午後3時まで

会場 紫水館

日時 3月17日・18日

午前9時〜午後3時まで

会場

総合庁舎第1会議室

上記2ヶ所のうちどちらかで当日準備するもの

申請書類一式(県税事務所又は農協本店備え付け)・使用者証・印鑑(共同申請の場合は全員のもの)・耕作証明書・軽油の納品書(前回購入分)・免税証の引取り等に係る報告書・機械の購入証明書(新規申請者又は機械を変更した者のみ)

※ご不明な点がございましたら、由利県税事務所までご連絡ください。TEL 23-4105

自動車事故対策センターの貸付金と介護料

交通遺児に育成資金を貸付

対象 自動車事故で保護者がなくなったり、重度の後遺障害者になったりした家庭の中学生までの子ども

申込者 その子どもを扶養している保護者

貸付額 一時金15万5千円

毎月2万円、

小・中学校入学支度金

4万4千円

返済期間 20年以内

▼**重度後遺障害者に介護料支給**
対象：自動車事故により、
脳・脊髄・胸腹部臓器損
傷を生じ、自力移動・摂
食不可能などの状態の人

▼**介護料（月額）：常時要介護**
の場合5万8千570円
、13万6千880円、随
時要介護の場合2万9千
290円、5万4千円
（いずれも障害の程度に
応じた額となります）

▼**申込・問合せ：自動車事故
対策センター秋田支所**
TEL 018-863-5875

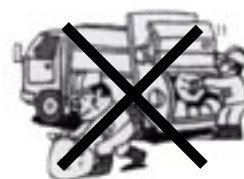
新荘坂之下線通行可能

工事のため交通が規制され
ておりました上新荘く坂之下
間が12月末で通行が可能にな
りました。
一部に急坂な箇所がありま
すので、充分気をつけてお通
り下さい。

正月のごみ収集

皆様の御家庭にお配りして
おります「矢島町ごみ収集力
レンダー」をご覧になり、お
間違いのないようご注意下さ
い。

1月1日～5日まで
ゴミの収集は
行いません



知識のユニバース「放送大学」

平成15年度第1学期（4月入学）学生募集

放送大学はテレビ・ラジオ（スカイパーフェクTV!）
で授業を行う、正規の通信制の大学です

【教養学部】人文・社会・自然。産業等幅広い分野の約
300科目から好きな科目を1科目からで
も選んで学習できます。

【大学院】66科目から好きな科目を選んで学習でき、
高度で専門的知識・技術を習得したい方、企
業で働く方や自治体職員の研修に最適です。

【募集学生】教養学部と大学院の修士科目生

	教 養 学 部			大 学 院	
	全科 履修生	選科 履修生	科目 履修生	修士 全科生	修士 科目生
在学期間	10年 まで	1年	6か月	5年 まで	6か月
募集回数	年2回	年2回	年2回	年1回 (9月)	年2回
入学期間	4月・ 10月	4月・ 10月	4月・ 10月	4月	4月・ 10月
入学試験	なし	なし	なし	あり	なし
入学資格	高校卒 満18歳 以上	満15歳 以上	満15歳 以上	大学卒 満22歳 以上	満18歳 以上
終了時の 資 格	124単位 で学士 (教養)			修士 (学術)	

【募集期間】12月15日（日）～平成15年2月28日（金）

【資料請求・問い合わせ】

放送大学秋田学習センター 電話018-831-1997

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp/hp>

11月救急月報（矢島地区消防組合）

	出動件数	搬送人員
交通事故	0 件	0 人
一般負傷	3 件	2 人
急 病	10 件	10 人
そ の 他	3 件	3 人

交通事故の発生状況

（平成14年12月25日現在）

人身交通事故 **1件**

（平成14年12月）

交通死亡事故ゼロ日数

971日

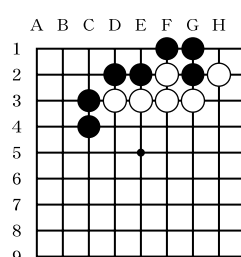
子供館よりお知らせ

今月のお楽しみ会は
★1月25日（土）“餅つきをす
る”です。
昔ながらの餅つきを体験して
みんなでおもちを食べましょ
う。

ちよつとひと息…

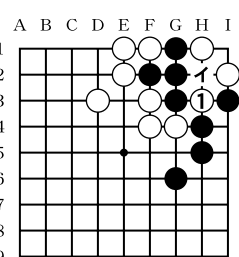
囲碁講座

白番です黒をおいおとし
で取って下さい。



（12月号解答）

白1で四目が取られていま
す。黒1は白1です。



※正解者1名に粗品を進呈
いたします。

（解答例 C-3・F-1）

（応募多数の場合は抽選）

●応募先

矢島町七日町字上山寺29

廣祐寺内

やしま囲碁同好会

●締切は、毎月10日まで